



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

～広げよう有功の輪～

# 有功ひろしま

有功会会報

20号

## 令和4年度広島県赤十字有功会総会 開催

7月6日(水)、令和4年度広島県赤十字有功会総会がANAクラウンプラザホテル広島(広島市中区)で開催され、表彰受章者や会員など計54名が参加しました。

総会では、「令和3年度事業報告・決算報告」、「令和4年度事業計画・予算」などについて審議され、原案のとおり承認されました。その後、日本赤十字社 事業局 国際部企画課 研修係長 芳原みなみさんによる「ウクライナ人道危機への赤十字の対応」と題した講演が行われました。

また、講演に先立ち「日本赤十字社有功章等伝達式」を開催し、田邊 昌彦 副支部長から、日本赤十字社広島県支部に対する活動資金のご支援により銀色有功章以上の表彰対象となった個人6名、法人21社の方に対し感謝状を授与しました。



総会の模様



田邊副支部長から有功章等の表彰伝達



## 会長挨拶

広島県赤十字有功会会長  
田村 興造

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、ロシアによる侵攻後、ウクライナ各地で紛争が激化してから約1年が経過しようとしています。

この紛争は、1,500万人以上とされる避難民の発生や学校・医療施設等のインフラの破壊、ライフラインの寸断など、多くの人に耐え難い苦しみをも

たらしました。

また、この紛争は当事国と周辺国のみならずエネルギーや食料品の需給動向に影響を及ぼすなど問題は世界中に広がっています。

日本赤十字社は、国際的な赤十字ネットワークの一員として紛争の影響を受けて苦しんでいる人々を支援するため、救援金の募集による資金救助のほか、薬剤師やこころのケア要員、放射線技師など多岐にわたる人材をウクライナ及び周辺国に派遣しています。

当会は、日本赤十字社の活動に積極的に協力するため、引き続き活動の活性化に尽力して参りますので、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後に会員の皆さまのご健勝とご発展、そして世界の平和と安定を祈念し、新年のご挨拶といたします。

# 令和4年度日赤紺綬・有功会 会長協議会総会 開催

10月6日(木)、ANAクラウンプラザホテル大阪で「令和4年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会」が開催され、広島県赤十字有功会から部谷副会長が出席しました。

総会では、令和3年度収支決算報告や役員の選出について審議された他、次回の開催県として広島県が指名されました。

また、各県有功会から活動状況について情報交換が行われ、中四国ブロックからは鳥取県赤十字有功会が活動報告を行いました。



大阪府大阪市での総会

## 広島県赤十字有功会役員紹介

役職名	氏 名	現職(法人) 個人(居住地)
会 長	田 村 興 造	広島ガス株式会社 代表取締役会長
副 会 長	小 田 宏 史	株式会社もみじ銀行 頭取
副 会 長	松 本 和 久	株式会社サタケ 代表取締役社長
副 会 長	部 谷 俊 雄	株式会社ひろぎんホールディングス 代表取締役社長
常 任 委 員	土 肥 博 雄	広島市

役職名	氏 名	現職(法人) 個人(居住地)
常 任 委 員	山 根 以久子	株式会社サンポール 代表取締役会長
常 任 委 員	池 田 浩 直	鯉城タクシー株式会社 代表取締役社長
常 任 委 員	中 嶋 栄 子	株式会社フカイ 代表取締役
監 事	岡 田 民 男	松電産業株式会社 代表取締役会長
監 事	小 松 節 子	株式会社メンテックワールド 代表取締役社長

## 令和4年 会員動向・新規会員紹介(令和4年12月現在)

◇会員動向 【個人】72名 【法人】260社

◇令和4年 新規会員紹介(順不同・敬称略)

### ●法人(1社)

会員名	市区郡
公益社団法人広島県薬剤師会	広島市中区

ご入会いただき、ありがとうございました。

## 仲間づくり運動の推進にご協力ください

赤十字を支援する輪を広げるため、会員の皆様には、仲間づくりの推進にご協力ください。

### 入会資格

日本赤十字社の事業資金に多額のご協力をいただき、日本赤十字社有功章を授与された個人及び法人・団体

#### ◆銀色有功章

20万円以上(一時又は分割して)のご協力で「銀色有功章」を贈呈いたします。



楯

#### ◆金色有功章

50万円以上(一時又は分割して)のご協力で「金色有功章」を贈呈いたします。  
(個人の方は勲章、法人様は楯)



勲章



## 日本赤十字社広島県支部からのお知らせ

### ウクライナ人道危機における日本赤十字社の対応

2022年ウクライナ各地で激化した武力戦争は、世界中に大きく衝撃を与えました。武力戦争の激化から約1年が経過した今でも戦闘地での激しい攻撃は終息することなく、厳しい冬を迎える中で、人々の命と安全は脅かされ続けています。また、故郷や家族のもとを離れて暮らす避難民や、彼らを受け入れる地域での身体的・精神的・経済的な負担も増加し続けている状況です。国際赤十字は、この前例がないとも言える大規模な人道危機に向かい合い、一丸となって支援活動を続けています。

日本赤十字社で募集した「ウクライナ人道危機救援金」は、約74億円(11月末時点)をご支援いただきました。お寄せいただいたこの救援金は主に国際赤十字を通じた現地赤十字の支援活動(避難民や市民への物資等支援・専門技術を持つ職員等派遣など人的貢献・住居や医療の支援など)に活かしています。

国際赤十字は、「ヨーロッパ最大級の人道危機」とよばれるこの危機に対し、緊急の「救援活動」に加え、中長期的な「復興支援」も視野に、懸命に活動を続けています。



救援物資の状態を確認する  
日本赤十字社職員



ウクライナ東部地域で避難の  
手助けをするボランティア



救援物資を準備するボランティア



首都キーウ周辺で救援活動を行う  
ウクライナ赤十字社の職員



ウクライナから避難してきた人に  
保健医療支援を実施提供する  
ハンガリー赤十字社ボランティア



イルピンで負傷した人びとに応急的な  
医療を施すICRCスタッフ

今後もこのような活動を継続していくため、  
赤十字へのご理解・ご支援をお願いします。



## 青少年赤十字活動への支援事業報告

広島県赤十字有功会は、青少年赤十字活動を支援しています。

令和4年度は、青少年赤十字トレーニング・センターと青少年赤十字創設100周年特別事業「100万羽おりづるプロジェクト」に支援を行いました。

### 100周年特別事業 「100万羽おりづるプロジェクト」

このプロジェクトは、青少年赤十字創設100周年を記念して行われ、園児・児童・生徒のより一層の健康と安全、そして国際理解を深めるとともに、人類社会に対する奉仕の精神を育成することを目的に行われました。たくさんの力を集めれば、できることがある、ということを経験することができました。

県内312の学校と39の企業団体にご参加をいただき約120万羽のおりづるを制作することができました。

令和4年9月22日(木)～24日(土)、広島県立総合体育館武道場(広島市中区基町)にて、

ギネス世界記録挑戦イベントが行われました。

3日間で延べ450人のボランティアの方にご協力いただき、「最も長い折り紙レイ(Largest origami lei)」として、ギネスワールドレコードからギネス世界記録に認定されました。

今後、おりづるは広島の子どもたちの特別な思いを含めたメッセージを添えたノートに再生し、ネパールの子どもたちに贈ります。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



東広島市立平岩小学校で制作されたおりづる



完成した全長15,579.7mのおりづる



代表してギネス世界記録公式認定証を授与  
(右)ギネス世界記録公式認店員



ギネス世界記録認定を記念して学生ボランティアと  
記念撮影

お問い合わせ \_\_\_\_\_



**日本赤十字社** 広島県支部  
Japanese Red Cross Society

WEB  で

#### ○広島県赤十字有功会事務局

所在地：〒730-0052

広島県広島市中区千田町2-5-64

日本赤十字社広島県支部 組織振興課内

連絡先：電話(082)545-5011、FAX(082)240-2741

URL：https://www.hiroshima.jrc.or.jp/merit

●有功会会報「有功ひろしま」20号 令和5年1月発行